

社長メッセージ



私たちは「食」に携わることを誇りとし、
無限の価値を創造する魅力溢れる企業を目指します。

当社は、双日グループの中核子会社として食品総合商社の重要な役割を担っており、絶え間なく変化するビジネス環境において、柔軟に対応し続けることが求められます。持続的な成長を実現するためには、変化を恐れず、積極的に新たなチャンスを掴み取る姿勢が必要です。

多様なリスクや変化を機会と捉え、「マーケットインの徹底」、「社内外での共創と共有の実践」、「スピード感の追求」により、競争優位の獲得と事業の成長を追求します。そのために必要な組織や人材の変革を継続し、持続的な価値創造を実践していきます。

お客様や事業パートナーの皆様と共に、新たなサプライソースの発掘、食料原料の調達機能、商品開発・製造機能、物流機能を革新・進化・発展させていき、「必要なモノ・サービスを必要なところに提供する」という商社の使命を全うします。また、食料を取り扱う企業として、食料の安全・安心を担保することも重要な責任と認識しています。品質管理部は、製造工場の品質管理やコンプライアンスを遵守し、適切なガバナンス体制を構築することで食の安全・安心を確保しています。

日本を含む世界中のお客様及び事業パートナーの皆様と「食」に携わることを誇りとし、情熱を胸に無限の価値を創造する魅力溢れる企業を目指します。

双日食料株式会社
代表取締役社長 小泉 豊

企業理念



New way, New value

SOFCOの企業理念

私たちは食に携わることを誇りとし
無限の価値を創造する
魅力溢れる企業を目指します

SOFCOの行動規範

SOFCO

S	atisfaction	=	満 足	顧客・社員の満足を追求する
O	riginality	=	独 創	独創的な発想を持つ
F	ashion	=	時 流	時流をつかむ
C	hallenge	=	挑 戦	恐れず常に挑戦する
O	rganization	=	組 織	組織力・総合力を発揮しやり遂げる

SOFCOの経営ビジョン

食の安全・安心を第一に、重点分野へ資源を配分し、
当社ならではの新たな価値とサービスを
世界のお客様に提供する食の総合商社

会社概要

商 号	双日食料株式会社 Sojitz Foods Corporation	
本 社	〒106-0032 東京都港区六本木3-1-1 六本木ティーキューブ 16F TEL 03-5574-3300 FAX 03-6697-3080	
設 立	1983年1月25日	
資 本 金	4億12百万円	
年 商	単体：1,449億円 連結1,459億円(2025年3月期)	
役 員	代表取締役社長 小泉 豊 取締役専務執行役員 小野 浩平 取締役常務執行役員 井上 和彦 取締役執行役員 西井 篤 取締役 三井田 砂理 取締役 西村 武 常務執行役員 豊田 繁久 執行役員 平塚 恒一 執行役員 春名 徹男 執行役員 河村 憲明 執行役員 小穴 裕 監査役 森泉 洋介 監査役 赤坂 誠一	
事業内容	農畜水産原料、基礎原料、加工食品、その他各種食料品の輸出入及び国内売買	
従業員数	合計 298名(2025年4月1日現在) ※但し、役員含まず	
株 主	双日株式会社 100%	
関連会社	双日食料水産株式会社 株式会社エヌ・アイ・エフ Japan Best Foods Co., Ltd. 株式会社ミートワン 株式会社フードテックワン	

会社沿革

1983年 1月	資本金1億円をもって日商岩井食料販売株式会社を設立 本社を東京都中央区日本橋人形町1-1-6に置くとともに清水出張所を設置
1984年 2月	名古屋支店を開設
1988年 6月	日協食品株式会社と合併し、資本金1億2千万円となる 本社を東京都台東区上野5-23-14に移転
1990年 6月	丸三株式会社と合併し、資本金1億8千万円となる 社名を日商岩井食料株式会社に変更。仙台支店を開設
1990年 9月	本社を東京都千代田区神田佐久間町1-26に移転
1993年 5月	本社を東京都中央区日本橋小網町17-16に移転
1994年 7月	日商岩井フーズ大阪株式会社と合併し、資本金2億8千万円となる
1997年 2月	福岡支店を開設
2001年 3月	資本金を7億5千万円増資し、資本金10億3千百万円となる
2002年 10月	資本金を6億1千8百万円減資し、資本金4億1千2百万円となる
2002年 10月	北海道出張所を開設
2004年 4月	社名を双日食料株式会社に変更
2005年 4月	双日株式会社食品部と統合
2005年 8月	本社を東京都港区赤坂2-14-32 赤坂2・14プラザビル に移転
2009年 10月	双日株式会社の食品原料・加工食品等の食品関連事業の一部を継承
2010年 4月	双日ミートアンドアグリ株式会社と合併
2011年 1月	北海道出張所を移転
2013年 12月	北海道出張所を移転
2014年 2月	福岡支店を移転
2014年 7月	名古屋支社を移転
2015年 5月	関西支社を移転
2015年 7月	本社を東京都港区六本木3-1-1 六本木ティーキューブ に移転
2016年 9月	北海道出張所、九州出張所(旧福岡支店)を閉鎖
2017年 9月	関西支社を移転

事業所

本 社

〒106-0032
東京都港区六本木3-1-1 六本木ティーキューブ 16F
TEL 03-5574-3300 FAX 03-6697-3080

関西支社

〒530-8689
大阪府大阪市北区梅田3-3-10 梅田ダイビル19F
TEL 06-7664-9450 FAX 06-7664-9455

名古屋支社

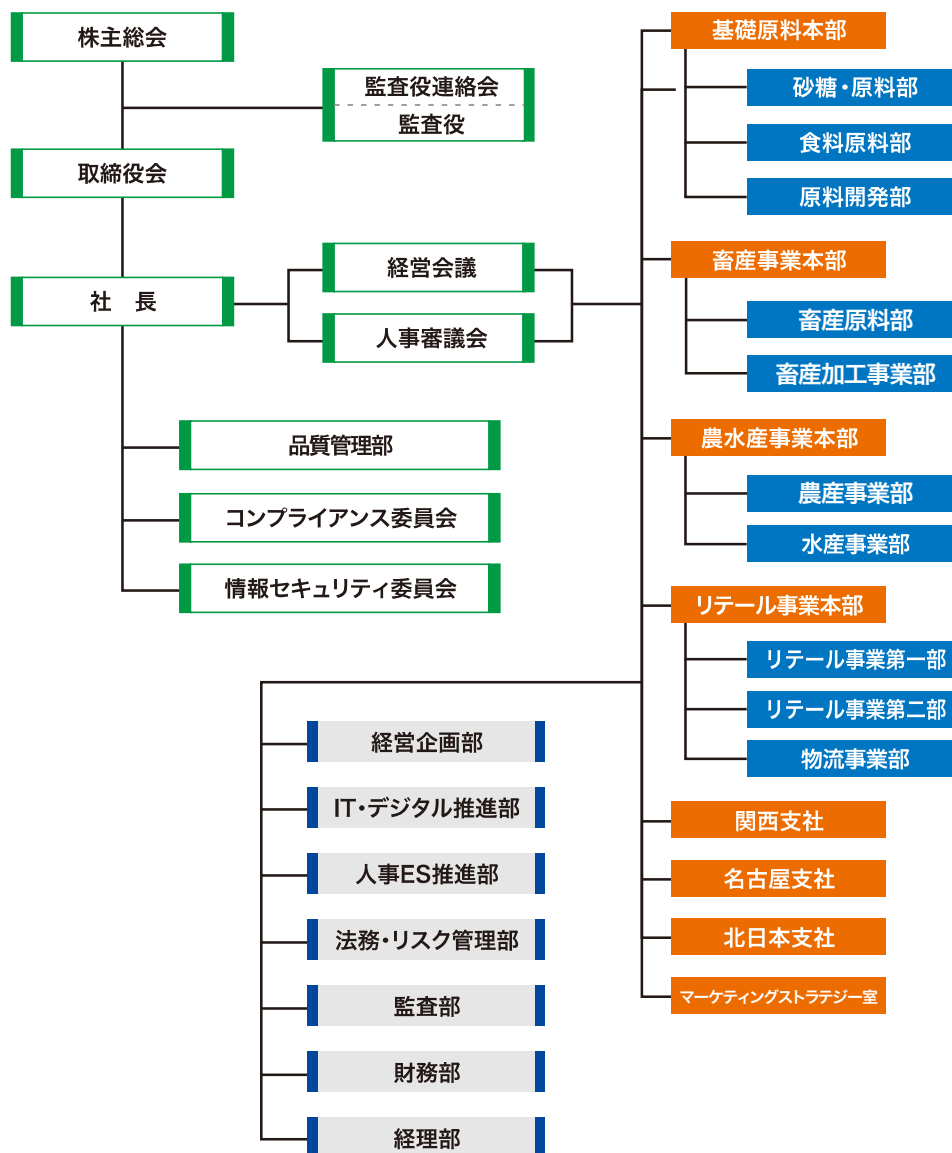
〒460-0003
愛知県名古屋市中区錦1-10-20 アーバンネット伏見ビル2F
TEL 052-211-2622 FAX 052-211-2640

北日本支社

〒980-0014
宮城県仙台市青葉区本町2-3-10 KDX仙台北町ビル11F
TEL 022-716-0660 FAX 022-716-0665

組織図

2025年10月1日現在



グループ会社

双日食料水産株式会社

事業内容 水産加工品、水産惣菜の製造・販売
本 社 〒106-0032 東京都港区六本木3-1-1 六本木ティーキューブ16F
TEL: 03-5574-3630 FAX: 03-5575-0331
釜石工場 〒026-0301 岩手県釜石市鶴住居町10-30-1
TEL: 0193-29-1011 FAX: 0193-29-1013
株 主 双日食料株式会社(100%)
H P <https://sojitz-foods-sf.com/>

双日食料水産は、鮭フレークを主力商品とする水産加工品、水産惣菜の製造・販売会社です。

東日本大震災後の2012年、鮭フレーク専用工場として新設された釜石工場では、最新の製造設備を導入し製造能力を従来より倍増し製造。原料から製品までの一貫生産体制により、一般消費者向けの瓶詰め製品、ならびにおにぎりなどに使用する業務用鮭フレークを製造しています。

双日食料水産では、中国にて委託製造するシメサバの輸入販売なども手がけ、徹底した品質管理のもと、安全・安心な各種水産加工品をお届けしています。



株式会社エヌ・アイ・エフ

事業内容 自動販売機向け食品の販売
本 社 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-1-11 青山SIビル2F
TEL: 03-3499-4641 FAX: 03-3499-4654
<http://www.nif.jp.net/>

グループ会社

Japan Best Foods Co., Ltd.

事業内容	日配惣菜製品の製造販売事業
本 社	Road N3-1, Long Duc IP, Long Duc ward, Long Thanh District, Dong Nai Province, Vietnam.
株 主	日東ベスト株式会社(51%) 双日食料株式会社(30%) 双日株式会社(19%)

HP : <https://japanbestfoods.com/>

ジャパンベストフーズ (Japan Best Foods Co., Ltd.) はベトナムで日配惣菜製品の製造販売事業を行っております。最新鋭のオートメーションシステムを導入した工場を双日グループが運営するロンドウック工業団地内に建設し、現地小売業者向けに製造・販売しております。

昨今、ベトナムでは経済成長による消費者の購買力向上に伴い、スーパーマーケットやコンビニエンスストアといった近代的な小売業態の発展が進む一方、日配惣菜製造業における技術革新は遅れており、小売業態を含む食品関連市場のさらなる発展に向けた整備が急がれています。ジャパンベストフーズは株主である日東ベストの技術力、及び双日グループが同国で培ったノウハウを活用することにより、先進的な商品・サービスを提供しております。

また、双日グループはベトナム国内に食品卸事業会社フン・トゥイ・マニユファクチャー・サービス・トレーディング (Huong Thuy Manufacture Service Trading Corporation)、及び4温度帯物流事業会社ニューランド・ベトナム・ジャパン (New Land Vietnam Japan Joint Stock Company) を展開しており、ジャパンベストフーズと合わせ、川上から川下まで総合的な食のバリューチェーンを構築することで、同国の市場拡大と発展に寄与すると同時に、ベトナムのお客様の満足度向上に貢献していきます。



グループ会社

株式会社ミートワン

事業内容 畜産加工品に関するマーケティング
 本 社 〒106-0032 東京都港区六本木3-1-1 六本木ティーキューブ16F
 TEL: 03-5574-3600 FAX: 03-3583-1963

ミートワンは、畜肉の原材料調達および販売、畜肉加工、物流に関わる複数の企業と、安全、安心で美味しい畜肉加工品を、日本及び世界の消費者に競争力のある価格で提供することを目指しています。

日本の食卓を支えてきた畜肉関連事業者にとっては、人口減少に伴う国内市場の縮小や、中国をはじめとするアジアの飛躍的な購買力向上による原料調達環境の競争激化など、事業を取り巻く情勢は益々厳しくなっています。

ミートワンは、これらの業界における課題解決に積極的に取組むため、参画各社の畜肉事業における原材料調達や加工、販売、物流などのノウハウを結集させることで、安全、安心な食材をより競争力のある価格で日本の食卓に届けます。





株式会社ミートワンにつぎまして



設立の経緯

安定供給・品質の確保という、業界の課題解決に取組むため、参画各社の畜肉事業における原材料調達や加工、販売、物流などのノウハウや、「匠の技術」を結集させることで、安全、安心な食材をより競争力のある価格で日本のみならず、世界の食卓に届けるため、日本全国の畜肉事業会社および、物流会社を中心となって、2018年2月に設立致しました。



特徴

参画企業同士が競い、より良質で、競争力のある価格の商品の提供を実現することです。お客様から依頼を受けた案件を、ミートワンが引き受けて、企画・アイデアを提示し、各参画企業が、見積もりから試作品までを手掛け、出てきた試作品の中から、選別したうえで、お客様に提示させて頂きます。



今後の展開

双日食料の原料調達力をいかしながら、お客様の様々なニーズに対応した、商品を開発・提供して参ります。業務用中心の商品ラインナップでしたが、今後は、ミートワンが監修するオリジナルブランドである、「肉一番」などの市販用の開発・取扱いを強化して参ります。

また、世の中のニーズに応え、「社会に還元する価値」を追求し、参画企業が切磋琢磨することによって、「発想」の力で新たなビジネスを切り開くとともに、新たな価値を創造し、皆様にお届けさせて頂きます。



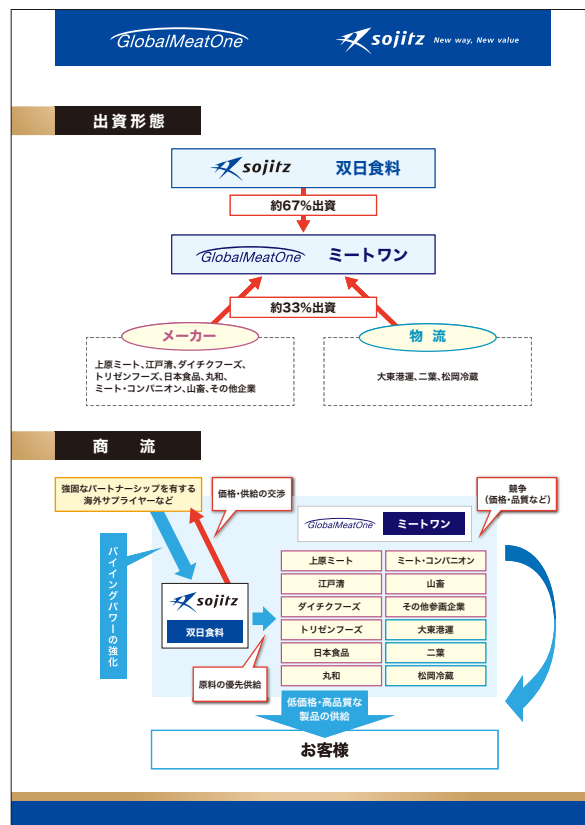
参画企業

■ 加工会社 (5社+参画)

社名	本社	工場数	主な加工アイテム
(株)上原ミート	沖縄県	1	スライス、ミンチ
(株)江戸清	神奈川県	2	ハンバーガーパテ、ミンチ、肉まん、スライス
(株)ダイチクフーズ	愛媛県	2	衣付ポーションとんかつ、スライス
トリゼンフーズ(株)	福岡県	3	鶏肉加工品
日本食品(株)	福岡県	2	ソーセージ、スチーム製品、スライス
(株)丸和	愛媛県	3	スライス、ポンドビーフ
(株)ミートコンパニオン	東京都	5	ポーションステーキ、加熱商品全般、スライス
(株)山清	静岡県	1	ポーションステーキ、ミンチ、スライス
その他参画企業	—	24	冷凍食品等全般
合計	—	43	

■ 物流会社 (5社+参画)

社名	本社	主な業務
大東冷凍(株)	東京都	通関業務
(株)二葉	東京都	通関、保管業務
松岡冷蔵(株)	東京都	検品、保管、配送業務



品質管理体制

「食の安全・安心」を支える、徹底した品質管理体制

「食の安全・安心」を経営ビジョンの第一に掲げるSOFCOでは2005年、専門部署である「品質管理部」を社長直轄組織として設置し、製品安全や遵法の徹底はもとより従業員教育に至る万全な品質管理体制を整えています。

品質管理

品質管理部では、品質管理に関わる以下の業務を行っています。

・遵法

食品衛生法、食品表示法等国内外の法令および法改正の情報を迅速かつ正確に把握することにより、取扱商品が法令を遵守し、表示が正しく記載されているか精査します。

・製品安全の確保

生産工場の情報を営業部門と共有し、生産工場に対して継続的な改善指導を行います。

・トレーサビリティ体制の構築

残留農薬に対応したトレーサビリティ体制の構築等、原料から製品までの徹底した管理を強化しています。

・商品クレームの迅速な対応

社内LANを利用したクレーム連絡体制を構築し、迅速かつ適確な対応を行っています。

・社員教育

全社員を対象に、食品の基礎知識の習得と、安全や遵法に対する意識の向上を目的とした教育を実施しており、食品衛生法や食品表示法等の法令や行政の動向に留まらず、食品工場における衛生管理の基礎知識、食品事故防止対策、事故実例の解説、責任ある食品表示を作成するための留意点等、様々な視点で実施しています。

品質管理の要となる国内外における工場管理指導にあたっては、以下のような手順のもと、製品安全の確保を徹底しています。

① 事前審査

新規取引の開始に際しては、製造環境、産地管理、検査体制、商品規格に関する書類の整備状況等々、ハードからソフトに至るさまざまな判断項目に基づく事前審査を実施します。

② 生産立ち会い

初回生産時には、生産立ち会いを行い、原料の保管から製品梱包、保管、出荷に至る各工程で、規格書どおりの商品が生産され、適正な表示が行われているか等を確認します。

③ 定期監査

製造現場ならびに製造記録に対する定期的な監査を、独自のチェックリストに基づいて実施。問題点を抽出するとともに、それに対する改善指導を行うことで、工場の管理レベルの向上に努めています。

④ クレーム改善指導

製造工場を確認して原因を究明し、再発防止に向けた改善策を工場と連携して構築します。

① 事前審査

② 生産立ち会い

③ 定期監査

④ クレーム改善指導



クレーム情報を共有する社内LANシステム

品質管理機能の維持・向上のために、参加している外部団体

品質管理機能の維持・向上のために、情報収集及び意見交換を目的として以下の外部関係団体に所属しております。

◆ 品質保証懇話会（日本食品工業倶楽部 主催）

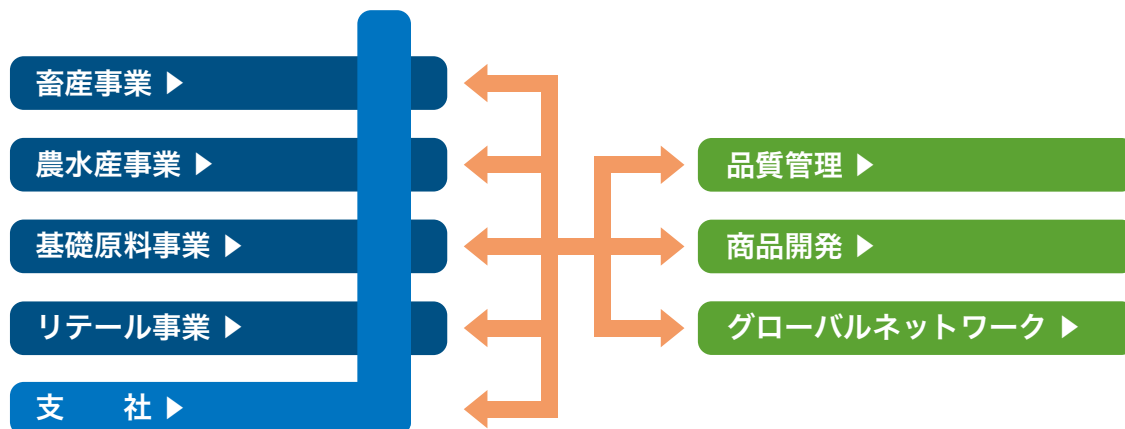
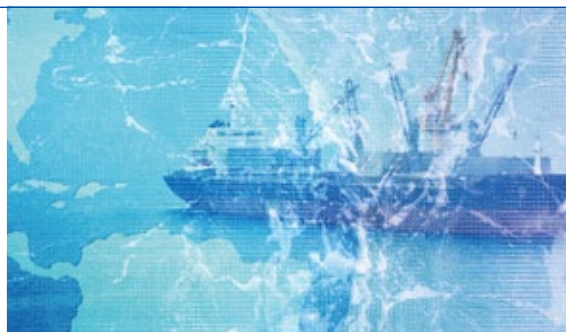
消費者に安全で健康的な食品を提供するために関係官庁、量販店、流通、食品メーカーが情報と知識を共有し、併せて企業の危機管理意識の高揚を目的として設立されました。

月一回の定例会（研修会、情報交換会）では、食品関連企業の品質保証・品質管理部門の責任者や担当者が参加し、横断的な情報交換が行われています。

SOFCOの事業

“総合性”を基盤に顧客ニーズに即した付加価値を創造

SOFCOは畜産事業から農水産事業、基礎原料事業、リテール事業まで幅広い事業を展開する“食の総合商社”。その総合性の強みを基盤に、物流、品質管理、商品開発に関わる高い専門機能を有機的に結び付けることで独自の価値を創造し、世界の人々に安全・安心な食材をお届けしています。



「畜産事業」「農水産事業」「基礎原料事業」「リテール事業」の4つに大きく分類されるSOFCOの事業は、食に関わるあらゆる領域に及んでおり、この総合性がSOFCOの大きな強みです。また、これらの事業を、北日本、名古屋、関西の3支社体制のもと北海道から沖縄に至る日本全国に展開しています。

これら4つの事業領域に関わる幅広い原料・加工品を、お客様のニーズに即して最適な商品として開発し、安全・安心を担保しながら、お客様にまでお届けする仕組みづくりをするのが、SOFCOが誇る「品質管理」「商品開発」「物流事業」の各機能。SOFCOではこれらの専門機能と、商品別の各事業とを有機的に結び付けることにより、お客様一人ひとりのニーズに即した商品・サービスを開発し、提供しています。

商社のグローバルネットワークも大きな強みです。海外からの食材調達という従来からの機能に加え、SOFCOでは近年、成長著しいアジアを中心に、食材供給・製造加工・海外進出支援など海外事業の展開強化も図っています。

商品案内

原材料から加工品まで、
あらゆる食料をお届けします。

双日食料では、幅広い食材を取り扱っています。砂糖・小麦粉をはじめとする原材料から、そのままお使いいただける加工品まで。あなたのベストパートナーとして、お気軽にご相談ください。



基礎原料(砂糖・糖化製品等)・機能性原料



砂糖、糖化製品、小麦粉、油脂、澱粉、添加物、食物繊維・アミノ酸・乳酸菌などの健康訴求原料、品質改良剤(増粘剤・加工澱粉)、制菌剤など

畜肉原料及び加工品



牛肉及び豚肉原料：国産及び輸入(北米・中南米・豪州・欧州等) 牛肉、プレミアムポーク
牛及び豚肉加工品：国産及び輸入(北米・中南米・豪州・欧州等) 牛加工品、ソーセージ・ベーコンなど

水産加工品及び原料



マグロ、サバ、鮭鱒、魚卵、ホタテ、イカ、タコ、エビ、カニ、貝類、アナゴ、カレイ、寿司ネタ各種、その他加工品など

農産品及び蜂産品／農産加工品及び原料



農産品及び蜂産品

冷凍野菜(さつまいも、フレンチフライポテト、オクラ、ホウレンソウ等)、冷凍果物(マンゴー、ブルーベリー等)、蜂蜜、ローヤルゼリー、プロポリス等

農産加工品及び原料

乾果物ナッツ加工品各種(レーズン、ブルー、アーモンド、クルミ、ピスタチオ等)、生鮮野菜・果物、冷凍野菜、水煮野菜(筍・蓮根等)、塩蔵野菜、味付野菜(惣菜)、濃縮果汁、果実加工品(アロエ、ナタデココ等)、蜂蜜など

グロサリー・PB加工品



農水産缶詰(フルーツ缶・ジャム・トマト缶・ツナ缶・さば缶等)、乾物(春雨・椎茸等)、レトルト商品(パスタソース・カレー・シチュー・牛丼・中華丼・鍋スープ)、パスタ・マカロニ、乾麺(蕎麦・うどん・素麺・冷麦)、嗜好品(コーヒー・ティーバッグ等)、飲料、酒類(ウイスキー、焼酎)、菓子(ミックスナッツ・ドライフルーツ)、調味料(ドレッシング・つゆ・みりん等)などのグロサリー商品や冷凍食品。

冷凍加工品



農水産冷凍加工品：輸入(中国、ベトナム等) かき揚げ、うずら卵フライ、白身フライ、カキフライ、たこ焼き、チヂミなど

畜産冷凍加工品：国産及び輸入(中国、ベトナム、アメリカ等) 唐揚げ、ナゲット、焼き鳥、チキンカツ、コロケ、メンチカツ、焼豚、鴨肉加工品、ペパロニ、イタリアンソーセージなど

畜産事業

SOFCOでは、畜産原料から畜産加工品まで畜産事業全般にわたる幅広い事業でお客様のニーズにお応えしています。



北米産冷凍牛肉の3割を輸入 — ビーフ事業

北米及び豪州から牛バラを中心に、焼材原料を輸入、冷凍食品及び畜肉加工メーカーを通じ、牛丼はじめコンビニ弁当など幅広い商品においてサプライチェーンを支えています。日本が輸入する北米産冷凍牛肉の約3割を扱い、圧倒的な買付量を背景に、成長市場である東南アジア向けトレードも展開中。親会社である双日(株)が展開する東南アジア食料戦略をテコに現地オペレーションも強化、中核となる成長事業を構築していきます。



©USMEF

多彩な商品を幅広い産地から輸入 — ポーク事業

テーブルミート用チルドポークを北米から食肉卸・外食・量販向けに、加工原料用フローズンポークをハムソーメーカー向けに、又、一次加工品を外食・食肉卸向けに輸入調達しています。正肉に加え、豚脂・内臓・DSP・豚骨等幅広い商品群を取り扱い、ユーザーズペックの立ち上げやタイムリーな調達、北米・南米・欧州等主産地と成長著しいASEAN市場を俯瞰した新産地提案など、きめ細やかな対応で幅広いニーズにお応えしています。



©USMEF

輸入原料の強みを活かして — 畜産加工事業 / ミートワンプロジェクト

ビーフ部やポーク部などの原料調達力や、双日グループの総合力を活かしながら、ミートワンが商品開発を監修し、ミートワンに出資する参画企業と双日食料の業務提携先を中心に、匠の技術を持つ全国の加工企業が競い、お客様のニーズに対応した商品をスピーディに開発、製造します。業務用中心の商品ラインナップから、今後は、簡便調理をキーワードに、ミートワンが監修するオリジナルブランド「肉一番」など、市販用の開発・取扱いを強化していきます。



農水産事業

農産品・蜂産品原料、水産品全般を幅広く取り扱う農水産事業では、「食」を通じて新たな価値と豊かな未来を創造し、安全・安心な原料をお客様に安定的に供給すべく、原産地リスク軽減のため新たな産地開発にも積極的に取り組んでいます。また、情報収集を幅広く行い、お客様に提供するとともに、日々変化する食のニーズに対応し原料・商品開発を行っています。



農産品/蜂産品の開発輸入 — 農産加工事業

農産品、蜂産品等を各国より輸入し、国内メーカー、外食等各種業態へ販売しています。

【農産品】

農産物を国内外から買付けし、素材の提案、PBブランド化などお客様のご要望にお応えしています。収穫時期、製造時期には現地に出向き、生産指導、品質管理を行い、安心安全な商品提供をモットーとしています。

【蜂産品】

世界の養蜂地よりレンゲ、アカシア、マヌカハニー等、多岐に亘る種類の蜂蜜を輸入しており、国内トップクラスのシェアを誇っています。



大豆雑豆/果実加工品/乾果物の開発輸入 — 農産原料事業

大豆・雑豆、果実加工品、乾果物等を各国より輸入し、国内メーカー、問屋等各種業態へ販売しています。

【大豆・雑豆】

北米・中国・東南アジアより輸入し、国内の大手メーカー、問屋向けに販売。大豆（食品用：豆腐・味噌・納豆他）については北米産を中心に世界的な穀物需要の高まりに対応しています。

【果汁・果実加工品】

リンゴ・柑橘類の果汁、野菜エキス（人参他）、缶詰（アロエ・リンゴ・ナシ・みかん他）、その他冷凍品等の製品をお客様のニーズに合わせ各国より輸入し、加工販売を行います。産地分散化を図り、安定供給体制の強化を図っています。

【乾果物】

レーズン、ナッツ（アーモンド・クルミ他）、その他ドライフルーツ等の開発輸入販売を行い、新たな産地開発にも注力しています。



輸入貝類の取扱いは国内トップシェア — 水産事業

水産品の原料から製品を世界各国より輸入し、国内の食品メーカー、外食チェーン、量販店等、各業態に幅広く販売しています。特に輸入貝類の取扱いは国内トップシェアを誇り、原料の水揚げから製品の加工まで安定した品質にこだわって幅広いニーズに対応しています。近年、水産資源の枯渇が問題となっていますが、世界各国の幅広いネットワークを駆使して優れた食材を輸入し、安定供給の構築に取り組んでいます。また水産国である日本で築き上げた美味しい食材を世界にお届けすることを目指しています。



リテール事業

リテール事業は幅広い食品を取り扱う事業です。加工度を高め日本をはじめ世界各国から安全・安心なグロサリー品・鶏肉加工品・水産加工品等を調達し、国内のスーパーマーケット・外食チェーン等に販売するとともに、輸出・三国間貿易にも力を入れています。



お客様の「こんな物があたらいいな」を開発販売 — リテール事業

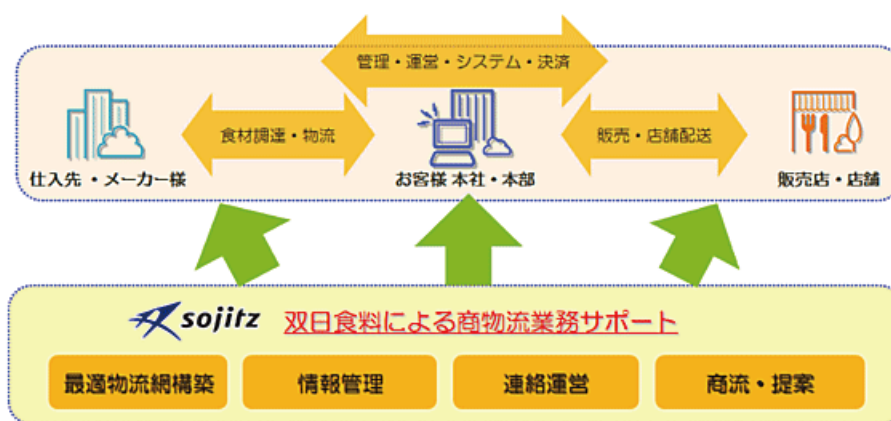
食品輸出入、卸事業ではお客様と一緒に国内外で開発した独自商品の製造・輸入・販売を行っています。扱っている品目は、農水産缶詰(フルーツ缶・ジャム・トマト缶・ツナ缶・さば缶等)、乾物(春雨・椎茸等)、レトルト商品(パスタソース・カレー・シチュー・牛丼・中華丼・鍋スープ)、パスタ・マカロニ、乾麺(蕎麦・うどん・素麺・冷麦)、嗜好品(コーヒー・ティーバッグ等)、飲料、酒類(ウイスキー、焼酎)、菓子(ミックスナッツ・ドライフルーツ)、調味料(ドレッシング・つゆ・みりん等)などのグロサリー商品や冷凍食品などお客様のニーズに合わせ当社のネットワークを使い開発した商品を販売しています。

販売先は、スーパーマーケット、CVS、ドラッグストア、外食チェーンなど多岐にわたり、他社では真似できない商品を開発し、ある時はメーカーとして、また卸会社として、また商社として様々な立場でお客様を満足させる機能こそが、SOFCOのリテール事業が目指している姿です。近年は開発した商品を輸出・販売し、日本の食文化を世界に向けて発信しています。



外食チェーンの商物流業務をワンストップ・サポート — 物流事業

SOFCOの物流事業の最大の特長は、単なる物流機能に留まることなく、食資材調達・メニュー開発から仕入物流、受発注、在庫、物流センター運営、データ管理、店舗納品に至るすべての機能を一元化されたシステム&サービスとして提供していること。バックヤード業務のトータル・アウトソーシング化を可能とすることで、外食・フードサービス企業様における業務効率化、経費削減のお役に立っています。



リテール事業

SOFCOのワンストップサービス

SOFCOは、以下のような複合的サービスの提供を通じて、お客様の商物流業務をワンストップでサポートします。

最適な物流網の構築

北海道から沖縄まで全国20カ所以上の当社物流センターを拠点に、お客様の店舗展開に即した最適な物流センターを設置、物流コストの削減を図ります。

情報システムの導入

インターネットを利用した汎用型の物流管理システムをご利用いただくことで初期投資はゼロ。既に使用されているシステムと連携し受発注、在庫、データの一元管理を簡単に実現することが可能です。

24時間365日対応 多機能型サポートセンター

受発注はもとより、在庫管理、運行管理、店舗・本部・仕入先からの問い合わせ対応、クレーム対応など、物流に関わるさまざまな業務を、24時間365日体制でサポートしています。

物流管理を行っている本部の方々の業務をアウトソーシングすることで経費節減・業務効率化が可能となります。

商流・食資材の提案

国内外からの食材調達やメニュー開発はもとより、各種資材などグループネットワークを駆使しあらゆる提案を行います。

海外出店サポート

双日グループのグローバルネットワークを活用して、さまざまな業態の海外店舗展開のサポートを行っています。



基礎原料事業

基礎原料をお客様のニーズに即して

基礎原料事業では、砂糖、小麦粉、乳製品など食品原料のなかでも基礎的な原料を扱っています。基礎的な原料に、付加価値をつけて、お客様のニーズにあった原料開発を行います。



基礎原料・機能性原料を販売 — 砂糖・原料事業

【基礎原料】

砂糖、糖化製品、小麦粉、油脂、澱粉などの商品を扱っており、これらの原料である原糖、トウモロコシ、小麦、大豆などは双日グループ内で輸入し、一貫性のある事業戦略を展開しています。市場の相場や需要予測などの情報を収集し、お客様のニーズにお応えします。

【機能性原料&品質改良剤、制菌剤】

- 1) 健康トレンドをテーマとした原料ラインナップ
- 2) 価格競争力を有する供給体制
- 3) 機能性原料&品質改良剤を配合したアプリケーション提案
- 4) SDG'sに対応した食品ロス削減や生産歩留向上、賞味期限延長などトータルコスト改善の提案



お客様のニーズに合わせて輸入開発 — 原料開発事業

原料開発事業では、基礎原料事業の扱う基礎原料をベースに、お客様のニーズにお応えするために原料開発を行い、輸入販売しています。価格、品質、安定供給、生産効率の向上など、お客様のさまざまなニーズの一つひとつにお応えすることを使命とし、ソリューションを提供しています。

【調味料】

アサリ、昆布、ホタテ等の水産エキスをはじめ、世界有数のサプライヤーとの協業による酵母エキス等を取り扱っています。

【原料ブレンド】

砂糖に小麦粉、乳製品など、お客様のさまざまなニーズにお応えしながら、海外でブレンドを行い、輸入販売しています。

【糖類・添加物】

海外の糖類・添加物(増粘剤、加工デンプン)などを国内外のお客様へ販売しています。

【有機砂糖】

有機砂糖(オーガニックシュガー)は、化学農薬や化学肥料を使わずに育てられたサトウキビなどから作られる自然な砂糖です。精製過程で化学処理を行わず、サトウキビ本来の風味や栄養素を保ちます。環境に配慮した持続可能な農業手法で栽培され、自然な甘味と風味を提供するため人気があります。

当社が輸入するブラジル産有機砂糖は、日本への輸入量No.1を誇ります。お客様に支持され、安心してお召し上がりいただける品質を提供しています。



基礎原料事業

チョコレート・カカオ・コーヒー生豆・粗糖・乳製品をはじめとする嗜好品原料の取り扱い — 食料原料事業

輸入業務用チョコレートはベルギーなど海外から輸入販売しており、特に高品質チョコレートについては国内トップクラスのシェアを誇っています。さらにチョコレート、製菓、冷菓の原料となる各種ココア製品の輸入、販売も行っています。

コーヒー生豆の輸入販売においては、アフリカ・中南米産を中心に幅広い産地よりお客様のニーズにマッチした品質、デカフェ商品を取り扱っています。

粗糖は精製糖原料として約10%の輸入シェアを有しています。

乳製品は北海道産生乳を使用した乳製品全般(牛乳、バター、チーズ、煉乳、粉乳、生クリーム等)を取り扱っています。



支 社

(北日本支社／名古屋支社／関西支社)

SOFCOでは、多岐にわたる商品を日本全国に販売していくため3つの支社を構えています。北日本支社は東北・北海道を担当し、名古屋支社は中部・東海、関西支社は近畿以西沖縄までを担当しています。



支 社

名古屋支社

名古屋支社では、中国の水産・農産加工品、ベトナムの水産加工品、タイの畜産加工品等、お客様の要求に沿った商品を最適な場所(国)で開発・輸入し、お客様へ供給しています。

関西支社

関西支社では、タイ・中国製造のドライグロサリー品の開発輸入のみならず、冷凍惣菜及び食品工場向け食品原料(ツナ・コーン)の取り扱いを行っています。

北日本支社

北日本支社では、北海道、東北エリアの外食、中食、量販店、メーカーなど様々な取引先へマーケットインの思考で、商社ならではの強みを活かしたワンストップのサービスを提供しています。また、海外との取引実績を活かして、国内製造品の輸出にチャレンジしています。



グローバルネットワーク

さまざまな「食」の資源を世界から、そして世界へ

SOFCOではさまざまな食料を世界から調達するばかりでなく、国産ならびに日本基準に適合した安全・安心な食料を、アジアを中心とする世界に向けて供給しています。そして、これを可能としているのが、総合商社・双日グループのグローバルネットワークです。



地図中ならびに表中の■印は、SOFCOと関係の深い拠点

双日グループの海外拠点

米州地域

アルゼンチン	ブエノスアイレス		
ブラジル	リオデジャネイロ	■サンパウロ	
カナダ	バンクーバー		
メキシコ	メキシコシティ		
ペルー	リマ		
米国	ヒューストン	メサ	ニューヨーク
	■ポートランド	サンノゼ	シアトル
	ワシントンD.C.		
ベネズエラ	カラカス		
キューバ	ハバナ		

欧州・アフリカ・中東・ロシア NIS 地域

オーストリア	ウィーン		
チェコ	プラハ		
エジプト	カイロ		
フランス	パリ		
ドイツ	デュッセルドルフ		
ハンガリー	ブダペスト		
イラン	テヘラン		
イタリア	ミラノ		
ケニア	ナイロビ		
モロッコ	カサブランカ		
オランダ	アムステルダム		
ナイジェリア	アブジャ	ラゴス	
ポーランド	ワルシャワ		
ロシア	ハバロフスク	モスクワ	サンクトペテルブルグ
サウジアラビア	ジェッダ		
南アフリカ	ヨハネスブルグ		
スペイン	マドリード		
トルコ	イスタンブール		
アラブ首長国連邦	ドバイ		
英国	ロンドン		
ウクライナ	キーウ		

グローバルネットワーク

中国地域

中国	■ 北京	重慶	■ 大連
	広州	杭州	香港
	青島	■ 上海	深圳
	天津		

アジア・大洋州地域

豪州	パース	■ シドニー	
バングラデシュ	ダッカ		
カンボジア	プノンペン		
インド	ベンガルール	チェンナイ	ガンディダム
	コルカタ	ムンバイ	ニューデリー
	ブネ		
インドネシア	■ ジャカルタ		
マレーシア	クアラルンプール		
ミャンマー	ヤンゴン	ネピドー	
パキスタン	カラチ	ラホール	
パプアニューギニア	ポートモレスビー		
フィリピン	マニラ		
シンガポール	シンガポール		
タイ	■ バンコク		
ベトナム	ハノイ	■ ホーチミン	
韓国	ソウル		
台湾	台北		